

円山動物園におけるゾウの導入

たからもと ひであき
宝本 英明

民主党・市民連合



問円山動物園ではアジアゾウの「花子」が天国へ旅立って以降、ゾウが不在となり8年がたとうとしています。ゾウの再導入については、これまで導入検討調査を実施し、本年度中にその可否を判断するとのことでした。先日、ゾウの導入が発表されましたが、導入決定に至った経緯について伺います。

答本市と同じ寒冷地であり、ゾウの繁殖実績がある海外の動物園を参考に施設や飼育方法の検討を行い、原産国における国外搬出の可能性について調査をしました。その結果、ゾウたちが生き生きと暮らせる十分な飼育環境を確保し、繁殖に取り組んでいくことで、原産国の理解を得られるものと判断し、導入を決定しました。

問来園した子どもたちからは、ゾウを見たいという声が寄せられています。導入には、施設などの整備だけではなく、飼育体制や展示内容などの準備も必要ですが、改めてゾウの導入の意義を伺います。

答ゾウの導入により、多くの市民に動物の生態や生息地のことを伝え、地球環境や生物多様性に対する理解を深めてもらうという意義があります。また、施設整備や維持管理には多額の経費が見込まれますが、市民や企業の寄附を募るなど、力をお借りしながら、希少動物の命を次世代につないでいきます。

市営住宅の募集に関する諸課題

あしはら すすむ
芦原 進

公明党



問市営住宅の応募状況は、単身者向け住宅の応募倍率が世帯向け住宅の応募倍率より2倍以上高くなっています。この状況をどう認識し、今後どう対応しますか。

答一人暮らしの高齢者世帯の増加が主要因と認識しています。家族向け住宅のうち、一部の比較的小規模な住戸を単身用に割り当てているほか、建て替えなどの際に、需給バランスに配慮し供給に努めます。

問長年連続して市営住宅に応募しても当選できない方に対して、今まで以上に当選確率を高めるような方法を検討すべきであると考えますが、いかがですか。

答現行の募集では、申し込みの継続年数に応じて優遇措置を取っていますが、それでも当選できない方が多数いることは承知しています。募集する住宅の一部を別枠として、一定年数以上申し込んでいる方だけに割り当てるなど、早急に見直しを検討していきます。

市議会の動き

11月27日に招集された第4回定例会の中から、12月3日、4日の代表質問の主な内容、最終日に可決された議案などについてお知らせします。

なお、代表質問については、ホームページの録画中継でもご覧になれます。

空き家対策

むねかた まさとし
宗形 雅俊

自民党・市民会議



問年々増加している空き家の問題が、今後、大きな行政課題になると考え、課題解決に向けた協議・検討を重ねてきました。国における「空家等対策の推進に関する特別措置法」の成立を踏まえ、適正に管理されていない空き家に対し、本市はどのように対応していくのですか。

答本市でも空き家対策検討委員会を立ち上げて、検討を進めてきましたが、この法律の成立により、法的根拠を持った対応ができるようになったため、対応基準や庁内体制を早急に整備し、空き家問題の解決に向け、積極的に取り組んでいきます。

問この法律は、「空き家やその跡地の活用のために必要な対策を講ずるよう努めるものとする」という規定を盛り込み、総合的な対策をとることを市町村の努力義務としています。その対策に関して、本市はどのように考えていますか。

答空き家やその跡地を活用することは、地域の課題解決や活性化につながることから、そのための仕組みづくりは空き家対策の重要な柱になると考えています。

例えば、民間の不動産関係団体やNPOなどと連携して、空き家やその跡地を流通に乗せたり、町内会などによる地域での活用を促す仕組みを構築したりするなど、対策を検討していきます。